

ロジスティクス環境会議

第3回 広報・普及専門委員会 議事録

・日 時：2004年8月31日（火） 10：00～12：00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 別館2F アゼリア

・出席者：8名

・議 案：

- 1) ニュース、ジャーナルについて
- 2) シンポジウムについて
- 3) その他

・開 会

定刻、小西委員長より、開会が宣された。

・報 告【資料1】

事務局より、資料1に基づき、各委員会の活動状況の報告が行われた。

・議事の経過

1. 議 事

小西委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) ニュース、ジャーナルについて【資料1】

事務局より、先般の企画運営委員会にていただいた意見等に基づき再度整理した資料1に基づき、ニュース、ジャーナルの基本的な枠組みについて説明が行われた後、以下のような確認がなされた。

【企画委員会後の主な修正点】

- ・ニュースの発信は、少なくとも月1回は行い、必要な都度発信する。
- ・ジャーナルに加えて、ニュースについても、過去の情報はホームページに掲載する。
- ・委員会登録していないメンバーについては、担当者または代表者宛にニュースを送信する。

2) シンポジウム等の企画について【資料3】

事務局より、資料に基づき、シンポジウムの企画案について説明が行われた後、以下のような意見交換がなされた。

【主な意見交換の内容】

(1) 参加料について

【委 員】参加費が2千円とあるが、妥当なのか。

【委 員】妥当ではないか。このようなシンポジウムは、企業主催の場合は無料、団体主催の場合は有料のケースが多い。

【委 員】団体主催であっても、啓発・普及を目的とした場合、無料で行っていることもある。

【委 員】有料であっても、それだけの価値の内容を提供できるのかと視点で検討するべきで

はないか。

【事務局】団体主催で無料の場合は、関係省庁がスポンサーになっていることが多い。
他団体の状況を再度確認したうえで確定したい。

(2) 企画内容について

【委員】基調講演については、物流とリンクするような候補で検討すべきではないか。

【委員】基調講演では、環境活動がコストダウンに結び付くということを参加者に理解してもらうことが大切ある。

【委員】増井先生の講演では、まずはCO₂を中心とした環境パフォーマンスを算定してみる
ことの重要性やデータ収集方法の提示、加えてCO₂等環境負荷を低減するために、
荷主企業と物流企業がどのようなことに留意すべきなのか、という内容で講演いた
だきたい。

【委員】パネルディスカッションについては、ロジスティクスの活動がコストに加えて環境
負荷の視点からも評価する必要がある、そのために荷主企業と物流企業がどのよう
なことを留意して活動すべきなのか、ということが本音で議論を交わせる内容、ス
ピーカの選定をすべきではないか。

【事務局】荷主企業、物流企業として、シンポジウムの中で本音の議論を交わせる人物を選定
するのは困難である。広報・普及専門委員会のメンバーでテーマの選定およびスピー
カーを選定したい。

以上のような意見交換を踏まえ、以下のようにシンポジウムの企画を行うことが確認された。

(1) 参加料について

今回の意見交換を踏まえ、事務局にて再検討し、次回委員会で確認する。

(2) 基調講演のスピーカについて

環境活動がコストダウンに結び付くこと、物流の視点からも講演いただけるよう、依
頼をする際をお願いする。

スピーカ候補企業：(株)キヤノン、日本アイ・ビー・エム(株)、住友スリーエム(株)

(3) パネルディスカッションについて

- ・パネリストは広報・普及専門委員会メンバーを中心に構成する。
- ・司会進行は増井先生に依頼する。

(4) その他

テーマ等については、次回委員会にて検討する。

3) その他

今後のスケジュールについて

次回委員会は、以下のとおり開始することが確認された。

第4回広報・普及専門委員会

日 時：9月29日(水)10 - 12時

会 場：J I L S会議室

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、小西委員長は閉会を宣した。

以 上